

## 平成26年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 マサル  
 コード番号 1795 URL <http://www.masaru-co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月12日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 荻谷 純  
 (氏名) 大木 信雄

TEL 03-3643-5859

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年9月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第1四半期	417	12.5	△149	—	△152	—	△143	—
26年3月期第1四半期	371	△36.9	△150	—	△153	—	△140	—

(注) 包括利益 26年9月期第1四半期 △141百万円 (—%) 26年3月期第1四半期 △134百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年9月期第1四半期	△32.03	—
26年3月期第1四半期	△31.18	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年9月期第1四半期	7,882	2,758	35.0
26年3月期	7,059	2,931	41.5

(参考) 自己資本 26年9月期第1四半期 2,758百万円 26年3月期 2,931百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	7.00	7.00
26年9月期	—	—	—	—	—
26年9月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は決算期(事業年度の末日)を毎年3月31日から毎年9月30日に変更しております。このため、経過期間である平成26年9月期は6ヶ月決算となります。なお、平成26年9月期の配当は未定であります。

### 3. 平成26年9月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,300	—	△140	—	△145	—	△130	—	△28.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成26年9月期は決算期変更の経過期間となることから、通期については6ヶ月間(平成26年4月1日～平成26年9月30日)の予想数値を記載しております。このため、通期の対前期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年9月期1Q	4,505,757 株	26年3月期	4,505,757 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年9月期1Q	11,950 株	26年3月期	11,399 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年9月期1Q	4,494,073 株	26年3月期1Q	4,495,949 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

当四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの手続の対象外であり、当四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日において入手可能な情報に基づき算定しており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因によって数値予想と異なる結果となる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動の影響から個人消費が大きく落ち込みました。しかしながら、政府の経済対策や日本銀行の金融政策を背景に、企業収益に引き続き改善傾向が見られるほか、雇用の着実な改善や賃金の上昇を受けた個人消費の持ち直しも期待されることから、景気の全般的な回復基調が続くものと思われまます。

建設業界におきましては、昨年度大幅に増加した建設投資額が僅かに減少するものの、公共部門、民間（非住宅）部門での建設投資は引き続き高水準で推移する見通しであります。一方、建設資材価格の高騰、労務費上昇により、建設業を取り巻く経営環境は依然として予断を許さない状況が続いております。

このような経営環境のもと、当社グループは今期方針として「フレキシブルに対応できる企業を目指す」を掲げ、市場の変化や労働需給の変化に迅速に対応できる経営戦略を策定し、着手いたしました。技能員の高齢化、若手不足に対応すべく、技能イノベーションプロジェクトを立ち上げたほか、新規事業の調査・開拓を目指したマーケティングリサーチにも着手しております。また、積極的にお客さまのニーズにお応えしつつ、工事利益の採算性向上を目指し、新築市場、リニューアル市場ともにバランスのとれた受注を確保してまいります。

この結果、当第1四半期連結累計期間の受注高は28億52百万円（前年同四半期比30.0%増）となりました。売上高につきましては、4億17百万円（前年同四半期比12.5%増）になりました。利益につきましては、売上総利益率の改善等により、営業損失は1億49百万円（前年同四半期は営業損失1億50百万円）、経常損失は1億52百万円（前年同四半期は経常損失1億53百万円）、四半期純損失は1億43百万円（前年同四半期は四半期純損失1億40百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## (建設工事業)

売上高は3億64百万円（前年同四半期比3.3%増）となり、セグメント損失は1億43百万円（前年同四半期はセグメント損失1億35百万円）となりました。受注高につきましては、27億34百万円（前年同四半期比44.3%増）となりました。

## (設備工事業)

売上高は53百万円（前年同四半期比183.9%増）となり、セグメント損失は5百万円（前年同四半期はセグメント損失14百万円）となりました。受注高につきましては、1億17百万円（前年同四半期比60.6%減）となりました。

なお、当社グループでは毎期3月に完成する工事の割合が大きいことから、通期の売上高に比べ、第1四半期連結累計期間の売上高は著しく低くなっております。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は67億50百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億19百万円増加いたしました。これは主に未成工事支出金が増加したことによるものであります。固定資産は、11億31百万円となり、前連結会計年度末に比べ3百万円増加いたしました。

この結果、総資産は78億82百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億22百万円増加いたしました。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は45億94百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億99百万円増加しました。これは主に未成工事受入金が増加したことによるものであります。固定負債は、5億28百万円となり、前連結会計年度末に比べ3百万円減少いたしました。

この結果、負債合計は、51億23百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億95百万円増加いたしました。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は27億58百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億72百万円減少いたしました。これは主に利益剰余金の減少によるものであります。

この結果、自己資本比率は35.0%（前連結会計年度末は41.5%）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月15日に発表いたしました連結業績予想のとおり、今期は決算期の変更に伴い、従来決算期の上期6ヶ月間での本決算となるため売上高が少なく、決算見通しといたしましては、受注高44億円、売上高23億円、営業損失1億40百万円、経常損失1億45百万円、当期純損失1億30百万円と予想しております。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	888,897	979,450
受取手形・完成工事未収入金	3,155,021	2,239,117
未成工事支出金	1,738,928	3,247,736
材料貯蔵品	9,886	9,147
その他	140,141	276,067
貸倒引当金	△1,498	△1,036
流動資産合計	5,931,375	6,750,482
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	166,297	164,136
土地	551,163	551,163
その他(純額)	9,227	8,395
有形固定資産合計	726,689	723,695
無形固定資産		
ソフトウェア	8,099	7,399
その他	20,549	20,549
無形固定資産合計	28,648	27,949
投資その他の資産		
投資有価証券	76,100	80,654
長期貸付金	34,600	34,450
その他	334,343	337,447
貸倒引当金	△72,365	△72,365
投資その他の資産合計	372,678	380,186
固定資産合計	1,128,016	1,131,831
資産合計	7,059,391	7,882,313
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金	1,373,896	1,209,599
短期借入金	501,670	421,680
1年内返済予定の長期借入金	569,916	547,464
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
未払法人税等	101,893	2,193
未成工事受入金	821,094	2,222,972
役員賞与引当金	25,000	—
賞与引当金	56,160	19,500
工事損失引当金	17,887	24,838
完成工事補償引当金	18,890	18,920
その他	89,364	107,740
流動負債合計	3,595,773	4,594,909
固定負債		
長期借入金	465,919	461,122
その他	66,189	67,416
固定負債合計	532,108	528,538
負債合計	4,127,881	5,123,447

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	885,697	885,697
資本剰余金	1,261,600	1,261,600
利益剰余金	780,905	605,490
自己株式	△3,926	△4,106
株主資本合計	2,924,276	2,748,681
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,233	10,184
その他の包括利益累計額合計	7,233	10,184
純資産合計	2,931,510	2,758,865
負債純資産合計	7,059,391	7,882,313

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
完成工事高	371,390	417,639
完成工事原価	324,113	359,372
完成工事総利益	47,277	58,267
販売費及び一般管理費	197,373	207,338
営業損失(△)	△150,096	△149,071
営業外収益		
受取利息	139	21
受取配当金	866	992
負ののれん償却額	249	—
その他	2,014	1,312
営業外収益合計	3,270	2,326
営業外費用		
支払利息	5,689	4,817
売上債権売却損	403	491
その他	885	571
営業外費用合計	6,977	5,879
経常損失(△)	△153,804	△152,624
特別利益		
固定資産売却益	—	157
特別利益合計	—	157
特別損失		
固定資産除却損	2,476	—
特別損失合計	2,476	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△156,280	△152,467
法人税、住民税及び事業税	1,616	1,081
法人税等調整額	△17,711	△9,594
法人税等合計	△16,094	△8,512
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△140,186	△143,954
四半期純損失(△)	△140,186	△143,954

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△140,186	△143,954
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,555	2,950
その他の包括利益合計	5,555	2,950
四半期包括利益	△134,630	△141,003
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△134,630	△141,003

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。